

2022年2月7日

2022年3月期 第3四半期決算の発表について

昭和産業株式会社(社長:新妻一彦)の2022年3月期第3四半期連結決算は、売上高215,255百万円、経常利益5,309百万円となりました。2022年3月期連結業績予想については、売上高287,500百万円、経常利益6,200百万円を見込んでおります。

【2022年3月期第3四半期連結決算】

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、長らく緊急事態宣言下にありましたが、感染者の減少に伴い、昨年9月30日をもって緊急事態宣言が解除となりました。経済・社会活動は回復が期待されたものの、感染力の強い新たな変異株が出現し再拡大するなど、感染収束の時期はいまだ不透明であり、依然として厳しい状況が見込まれます。

原料穀物は、世界的に旺盛な需要による需給の逼迫により、依然として原料穀物相場は高値で推移しております。加えて油脂原料である菜種は天候不順による油分低下により歩留が悪化しております。さらに、為替相場の円安ドル高進行による輸入コストの上昇や原油価格などエネルギーコストの高騰なども重なり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は創立90周年を迎える2025年度のありたい姿(長期ビジョン)「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向けた2nd Stage「中期経営計画20-22」に取り組んでおります。長期ビジョンの「確立」のステージと位置づけ、5つの基本戦略においては、これまでの「①基盤事業の強化」に注力しつつも、軸足を「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」へと大きく移し、それらを支える「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」についても優先度を高めて各施策の推進に努めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高が215,255百万円と前年同期に比べ24,674百万円(12.9%)の増収となりました。営業利益は4,417百万円と前年同期に比べ2,550百万円(36.6%)の減益、経常利益は5,309百万円と前年同期に比べ2,892百万円(35.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,282百万円と前年同期に比べ5,846百万円(64.0%)の減益となりました。

【2022年3月期連結業績予想】

第4四半期以降も新型コロナウイルス感染症再拡大、為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2022年1月24日の「通期連結業績予想および配当予想の修正ならびに通期個別業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松

TEL:03-3257-2042